

環境衛生課からの お知らせ

環境衛生課（吉備庁舎）
清水行政局 建設環境室

「ごみ分別すれば資源」

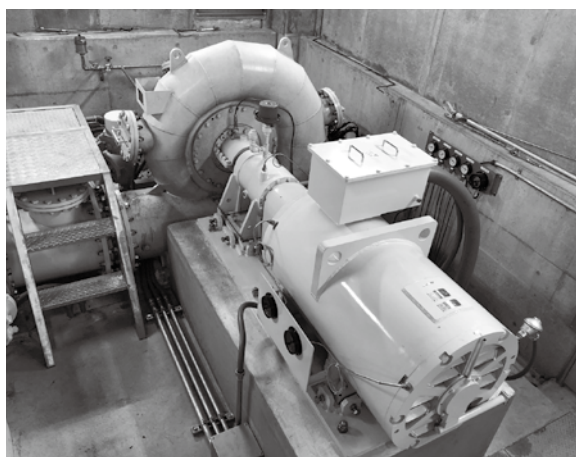
令和5年度（2023年度） 町営二川小水力発電所発電実績

令和5年度（2023年度）の有田川町営二川小水力発電所の発電実績を報告します。

- 年間発電電量／約119万キロワット時
- 二酸化炭素削減量／約404トン（原油換算で約295キロリットル）
- 売電額／約4289万円

町営二川小水力発電所の概要

- 水車の形式 横軸フランシス水車
- 使用水量 0.70m³/s
- 有効落差 約35m
- 発電所出力 最大200kW
- 総事業費 2億8,623万1,000円
- 完成 平成28年（2016年）2月



二川ダムでは、下流域の環境維持のため毎秒約700リットルの放流が常に行われています。有田川町営二川小水力発電所は、この環境維持放流水の水流エネルギーを利用し発電しています。この発電所の収益は、循環型社会の構築と自然エネルギーの利用推進のために役立てられています。環境にも町財政にもエコな発電所です。

危険なごみ

次に挙げるごみは集積所に出すと火災や爆発などの深刻な事故につながる恐れがあります。絶対に出さないようにしてください。

- ・中身が残ったカセットボンベやスプレー缶
- ・リチウムイオン電池やそれを内蔵する電気製品

・中身が残った使い捨てライター
特にリチウムイオン電池による事故は全国で多発しています。リチウムイオン電池を含む製品には次のようなものがあります。

- 例／コードレスタイプの掃除機・モバイルバッテリー・電子たばこ・電動歯ブラシ・シェーバー・携帯ゲーム機・電子辞書・ビデオカメラ・デジタルカメラ・電動工具・ポータブル音楽プレーヤー・コードレス電話（子機）など

リチウムイオン電池は小さな容器に膨大なエネルギーを蓄えられるため、大変便利な物である反面、発火・爆発したときは重大な事故となります。特に劣化して膨らんだ電池はちょっとした衝撃や加圧により発火・爆発するため大変危険です。不要になったリチウムイオン電池につ

家庭から出る 燃えるごみの収集量

令和6年（2024年）3月／約285トン
前月から約23トンの増加

最近よく「SDGs（エス・ディー・ジーズ）」という言葉を目にします。これは国連が定めた「持続可能な開発目標」の呼び名です。ごく簡単にいうと「みんなが幸せで快適な生活を送れるような未来を作るための目標」でしょうか。

私たち生活者が直接SDGsに取り組める活動の一つがごみの減量化です。より良い地球の未来のためにごみを減らしましょう！

いては販売店または専門業者に引き渡すようにしましょう。JBR C（資源の有効な利用の促進に関する法律）に基づき、小型充電電池の再資源化に取り組む団体）に加盟しているメーカー製で劣化していないリチウムイオン電池（単体）であれば、役場環境衛生課またはプラスチック収集場で回収しています。

※リチウムイオン電池内蔵製品で充電電池が外せないものは、サイズが40cm×15cm×30cm以内であれば役場各庁舎・地域交流センター（ALEC）・金屋文化保健センターに設置している小型家電収集ボックスへ入れることができます。